

財団法人 中山科学振興財団  
平成21年度事業報告書

(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

平成21年度は、事業計画に従い以下の会議を開催し、次の通りの事業を行った。

I. 会議

1. 理事会

- ①第57回理事会(平成21年 6月10日 午後6:30～8:30)  
平成20年度事業報告、同収支決算の承認  
会計方針の変更の承認
- ②第58回理事会(平成21年 8月19日 午後6:30～9:00)  
平成21年度中山賞大賞・同奨励賞、研究助成対象者及び国際交流助成対象者の決定
- ③第59回理事会(平成22年 2月 4日 午後6:30～8:50)  
平成22年度事業計画、同収支予算の決定  
「副理事長」及び「名誉理事」職規定制定の承認  
選考委員(常任・専門)の選任  
顧問の選任

2. 評議員会

- ①第36回評議員会(平成21年 6月10日 午後6:30～8:30)  
平成20年度事業報告、同収支決算の承認
- ②第37回評議員会(平成22年 2月 4日 午後6:30～9:00)  
平成22年度事業計画、同収支予算の承認  
理事の改選

3. 選考委員会

- ①平成21年度選考委員会(平成21年 7月 27日 12:00～午後2:10)  
中山賞大賞受賞候補者の選考  
中山賞奨励賞受賞候補者の選考  
研究助成対象候補者の選考  
国際交流助成対象候補者の選考

4. テーマ検討会議

- ①平成21年度テーマ検討会議(平成21年11月 16日 午後6:00～8:00)  
平成22年度褒賞・助成のテーマについて検討 《在京の学術担当理事および選考委員(常任)》

5. 新公益法人移行に関するワーキング・グループ会議

- ①第2回ワーキング・グループ会議(平成21年 4月 2日 午後6:00～9:10)  
定款作成の件 《ワーキング・グループ担当理事、監事、事務局》
- ②第3回ワーキング・グループ会議(平成21年12月15日 午後6:00～9:00)  
移行への再度の確認および財団名について《ワーキング・グループ担当理事、監事、事務局》

## II. 事業

1. 「言語の生物科学」をテーマとする以下各氏の研究に対し褒賞・助成を行った。  
(所属・肩書は授賞・助成当時／敬称略)

### 中山賞大賞：1名 300万円

岡ノ谷 一夫(おかのや・かずお)／独立行政法人 理化学研究所 脳科学総合研究センターチームリーダー  
「言語起源の生物学的研究プログラムの提案と実践－言語起源の前適応説および相互分節化仮説を中心として－」

### 中山賞奨励賞：1名 100万円

保前 文高(ほまえ・ふみたか)／首都大学東京 人文科学研究科 人間科学専攻 言語科学教室 助教  
「乳児の音声知覚に関する発達脳科学研究」

### 研究助成：5名 助成金額は下記の通り・五十音順

佐藤 正之(さとう・まさゆき)／東北大学大学院医学系研究科 高齢者高次脳医学寄附講座 准教授  
「慢性期失語患者の呼称の障害に対する替え歌を用いた音楽療法」 82万円

早川 友恵(はやかわ・ともえ)／帝京大学 文学部 心理学科 教授  
「言語機能が視覚的情報劣化を補う脳内メカニズムに関する神経科学的検討」 82万円

松永 英治(まつなが・えいじ)／独立行政法人理化学研究所脳科学総合センター生物言語研究チーム基礎科学特別研究員  
「ヒトの言語を司る脳内分子機構に迫る：マウスの発声行動をモデルとした分子生物学的研究」 82万円

村瀬 俊樹(むらせ・としき)／島根大学 法文学部 教授  
「複数ラベルが与えられる状況での子どもの語彙獲得」 69万円

山末 英典(やますえ・ひでのり)／東京大学大学院医学系研究科 脳神経医学専攻 精神医学分野 准教授  
「音声言語コミュニケーションと対人相互性の障害の脳内機構：フロア野とその対側領域の障害」 82万円

### 国際交流助成(海外渡航)：4名 各40万円 五十音順

波多野 都(はたの・みやこ)／市立砺波総合病院(富山県砺波市) 医員(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)  
「人工内耳によって獲得できる言語機能に限界はあるのか？」  
渡航先： オタワ(カナダ), Carleton University

日宇 健(ひう・たけし)／長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・制御学講座 神経病態制御学研究員  
「脳梗塞に対する再生医療の臨床実用化に向けたヒト神経幹細胞移植後の機能回復における内在性メカニズムの解明」  
渡航先： スタンフォード(アメリカ合衆国), Stanford University

深見 達弥(ふかみ・たつや)／福岡大学医学部 産婦人科 助手  
「胎児期の栄養状態がメタボリック症候群発症をプログラムする機序の基礎的検討」  
渡航先： ロサンゼルス(アメリカ合衆国), University of California

村松 秀城(むらまつ・ひでき)／名古屋大学医学部 小児科 医員  
「若年性骨髄単球性白血病の網羅的ゲノム解析およびメチレーション解析」  
渡航先： クリーブランド(アメリカ合衆国), Department of Translational Hematology & Oncology Research(THOR), Cleveland Clinic

**国際交流助成（海外研究者受け入れ）：1名 40万円**

**【受け入れ責任者】**

古賀 俊策（こが・しゅんさく）／神戸芸術工科大学 大学院 教授

**【招聘研究者】**

Daniel E. Lieberman（ダニエル・リーバーマン）／ハーバード大学人類進化生物学科（Human Evolutionary Biology）

教授・学科主任

「ヒトの持久運動能力の進化」

2. 贈呈式 および 食事会

平成21年 9月23日に、平成21年度褒賞受賞者・研究助成対象者及び理事、選考委員で贈呈式および食事会を開催した。

3. 出版事業

第17回の褒賞・研究助成・国際交流助成の成果を発表すべく、「活動報告書2008」を作成した。該当の研究者およびその関係者、当財団理事・評議員・選考委員、過去の大賞・奨励賞受賞者・研究助成者に送付。また、例年通り、全国の大学・研究所・病院などにも謹呈。合計約380部を発送した。

以 上